



市民のひろば

掲示板

【問い合わせ先】

(一社)物部川DMO協議会
☎088・802・5050

◆ものべがわフェスタ

香美市・香南市・南国市のキャラクターが登場。ステージイベントや、体験・展示・グルメのブースが並び、3市の魅力が詰まったお祭りです。

【日程】11月13日(日)

10時～15時 ※小雨決行

【場所】香南市天然色劇場

◆第13回香美市ファミリースポーツフェスティバル

スポーツを満喫し、心地よい汗を流しましょう。どなたでも参加できます。ぜひご参加ください。

※参加費無料・申込不要

【日時】11月19日(土)

11時～15時 ※雨天中止

【場所】土佐山田スタジアム

【内容】球速測定コーナー、テニスの当てるゲーム、サッカー、ちびチャリ、フライングディスク、ポッチャ等いろいろなスポーツを体験できます。

【主催】

香美市スポーツ推進委員会・市教育委員会

【問い合わせ先】

生涯学習振興課
☎53・1082

おたんじょうびおめでとう



今月満1～3歳の誕生日を迎えるお子さんを紹介します。

ご応募をおまちしています



※①は土佐山田町、②は香北町、③は物部町です。

掲載を希望される方を募集中！
申し込みは誕生月の前月1日まで。

問 総務課 ☎53-3112



▲フェスティバルの様子(平成30年)

第15回 かみがみクイズ

- A. 香美市立図書館「かみーる」は11月●日(木・祝)に開館します。
- B. 香美市●のキャラクターの名称を募集します。すてきな名前を考えてね！

応募方法

ハガキまたはEメールで①クイズの解答②住所③氏名④電話番号⑤誌面の感想を記入の上、応募してください。応募は1人1通とさせていただきます。

- 応募締切 11月30日(水) 必着
- あて先 〒782-8501(住所記載不要) 香美市広報委員会事務局かみかみクイズ係
- ☑ kamikami@city.kami.lg.jp

第149回当選者 藤原良子さん・土居絹江さん・中嶋佳代さん
鹿取良子さん(応募総数80通)

第150回の解答 A. 10 B. 200
【問い合わせ先】総務課 ☎53-3112

土佐打刃物 ZAKURI
※ZAKURI商品は刃研ぎが無料！
黒打ち舟行包丁 135mm
1本を3名様区！
内1本提供(協)土佐刃物流通センター



※当選者は誌面で発表します。

解答は、今月号の誌面にあるよ。
ケイタイからメールで応募しよう。



神氏かん その183



(山田高校マンガ部)

で想像すると、国衙から都の方向で、物部町神池の女池は、山の中腹にある一町歩ほどの沼である。人工池でなく古来から雨水の溜ったもので川は無い。山上の沼は、横山谷や東豊永村にも無いと思われる。小さいが、渡来樹の赤芽柳が植わる三反ほどの男池もあり、沼池が二つあって村名にふさわしい。沼山村の馬牧は、国衙から馬の列を御して十時間余で神池に入る。

国衙からの報告書、郵便、都からの命令や通知、貴重品も往来した国道か県道のような道があったと考える。土佐国司が往来したらしい記録もある。野根山越えや北山越道、西廻り海路もあるが、主要交通路には不利な条件がある。地図で古い時代の交通を考える時、三嶺や剣山の高山道の冬場は使えない。四足峠越えは、3カ月ほどは遭難の危険もあったと思われる。

人の生活のある村をたどる道が主道と考えるがどうであろうか。七堂伽藍があった神通寺跡神池を探訪し風に吹かれて想像し、京柱峠は、東豊永から福寿草の里下を川沿いに自動車道がある。峠名からすると、「京へ〇〇里」の標柱があったであろう。東祖谷も見え、四国山地を見渡す景勝の峠である。三々五々茶店で昼飯にする旅人や馬人足、婆さんの茶店をも想像させる。

(香美市文化財保護審議会 岡村)

新 第36回 土佐国沼山村馬牧の神池説

香美探訪記



寛平九年(897)醍醐天皇の御代、「土佐国沼山村に馬牧を置く」の記録がある。江戸時代元禄の頃、谷秦山先生の長子谷垣守は、「土佐幽考」に大忍庄横山に置かれた馬牧ではないかと推測されている。平安京に遷都して約百年、菅原道真が右大臣に昇る頃の事である。土佐国国衙から陸路の四国山地越えで阿波國へ出る宿場機能を持った今日の「道の駅」のようなものと考えられる。

馬牧は全国的には16～20キロメートル間隔だが、地形や制約で特認もあろう。馬牧には管理人が牧地で牛馬の疲労回復をさせると共に武具も置き、宿泊や食事もできたようである。馬は五頭、運搬手段の馬を替え、新規馬で山地を越し祖谷山牧地に山越えする。高板山に登り西峯村京柱峠(1156m)から東祖谷に降りて投宿し、祖谷馬牧で馬を替えて阿波國貞光からは、舟下りで吉野川河口の土佐泊に入ったと考える。三日半ほどで四国山地を越えたであろう。

沼山村の位置は分からない。あくまでも、筆者の推測であるが、村名の沼と山の字を信じる前提



ジャ・イービン(贾毅斌)
中国/陝西省

私は高知工科大学大学院修士課程1年のジャ・イービンです。出身地の西安は中国四大古都の一つで、羊肉まんや肉まんなどの料理が有名ですが、日本の奈良や京都とも長い歴史的なつながりがあります。

い私は、科学技術が人類にどんな影響を与えるのかについて考えるようになり、憧れと好奇心から、日本に留学し、自分の専門を決めました。

今年4月、初めて東京に来たとき、タクシーに乗せてくれたおじいちゃんの元気に驚きましたが、香美市に到着すると、都会とは違う自然の美しさに目を奪われました。なだらかな丘陵と豊かな緑に囲まれた物部川は、静かな雰囲気があります。

私の専門は、ヒューマンコンピュータインタラクティブです。例えば、携帯電話のシステムをどのようにデザインすれば、人々の携帯電話への過度の依存を減らし、より実生活に時間やエネルギーを割くことができるかなどについて研究しています。

数カ月間、香美市でゆっくりとした穏やかな生活を楽しむ、常に自然と一緒にいることで、学び、考えることができました。最初は日本語も話せず、生活も大変でしたが、幸いにも先生やクラスメイト、周りの大学のスタッフに助けられました。将来はもっと流暢に日本語を話せるようになり、皆さんに心から感謝の気持ちを伝えたいと思います。

